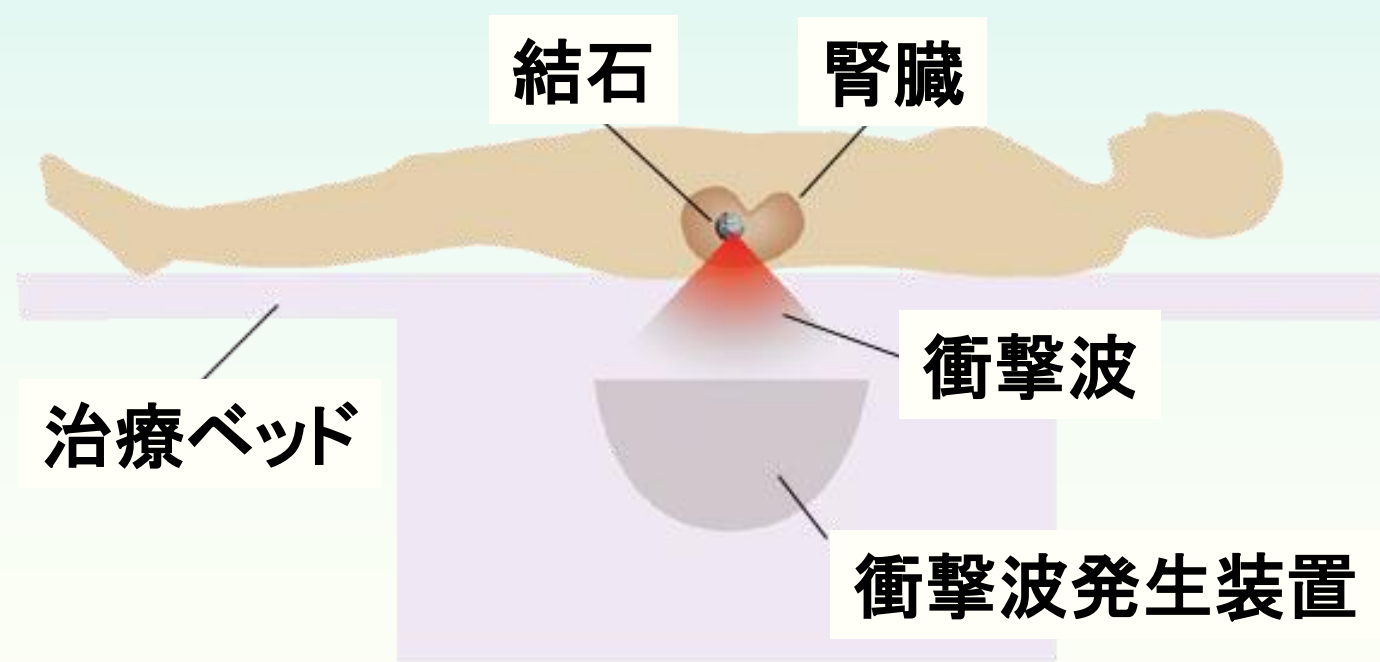


体外衝撃波結石破砕術

体外衝撃波結石破砕術（ESWL）とは腎臓や尿管にできた結石に、衝撃波を体外より当てて、結石を砂状にします。体に傷をつけることなく、破砕された結石は尿とともに体外に排出されます。現在、尿路結石の治療としては、この**体外衝撃波結石破砕術**は最も安全で標準的な治療法です。



尿路結石症について

尿路結石症とは、腎臓から尿管・膀胱に至る尿の道で結石ができる病気です。結石が尿とともにスムーズに流れ、自然に排出されれば問題はありませんが、腎臓や尿管にとどまると、腰やお腹に激しい痛み・血尿などを起こすことがあります。放っておくと腎臓の機能が低下する場合があります。



尿路結石の一例

結石破砕装置

当院では、体外衝撃波結石破砕術に使用される装置モデュリス SLX-MX/F を平成17年7月導入し、治療を行っております。



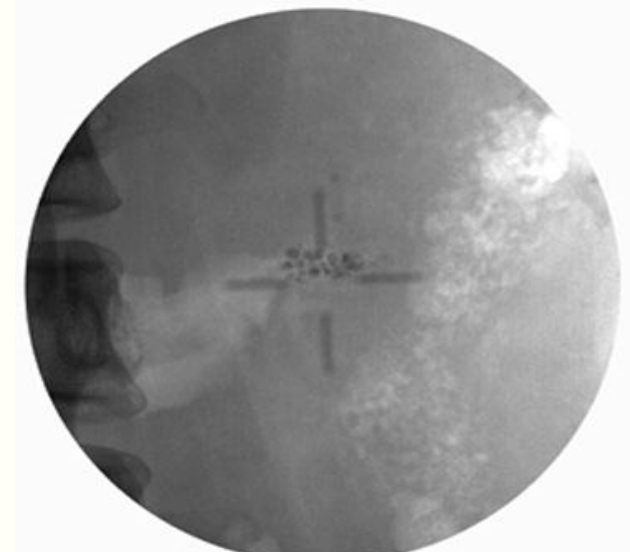
当院に導入されている装置による治療の特徴

- 本治療法は健康保険が適用になっています。
- 破砕力が強く、あらゆる種類の結石を細かく砕くことが可能です。
- 従来機種に比べ治療時の痛みが少なく、麻酔の必要性はありません。
(痛みの程度により坐薬、注射を使用いたします)
- 高齢者・合併症のある方でも治療を受けられます。
(合併症をお持ちの方は医師にご相談ください)

治療中は安全性が最も高いと言われているインラインX線位置合わせシステムを採用し、治療中の結石を随時監視し最適な衝撃波入射方向を判断することができます。



治療前X線画像

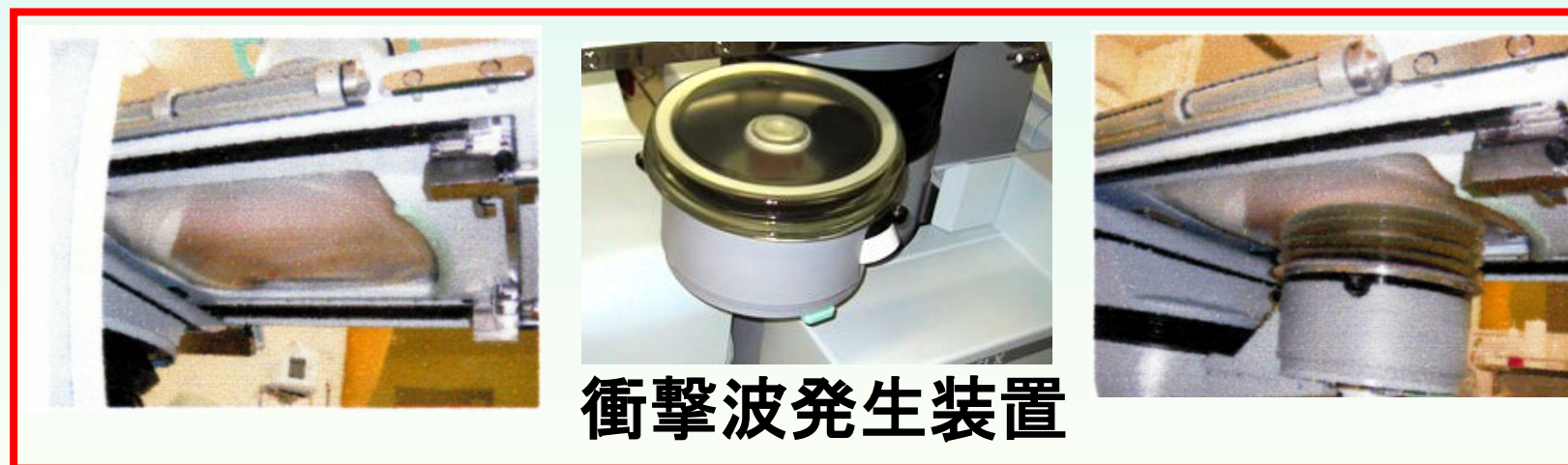


治療後X線画像

治療手順のご説明

一回の治療に関しまして、通常1泊2日で行います。ただし石の大きさや硬さによって治療回数が数回になる場合があることをご理解下さい。

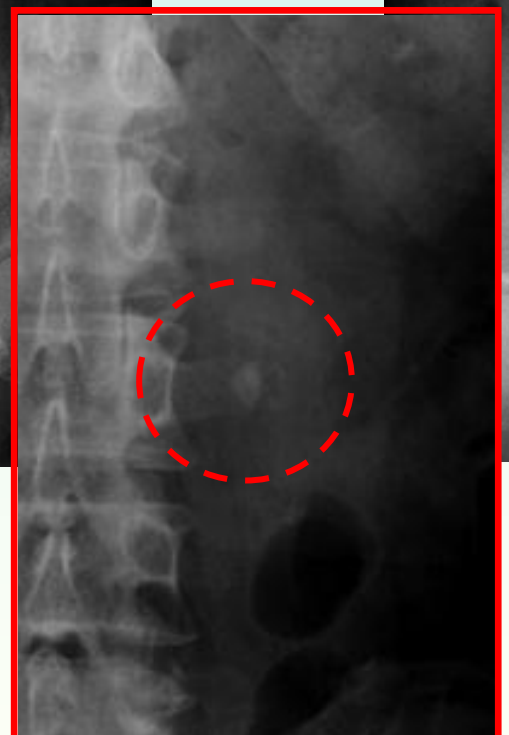
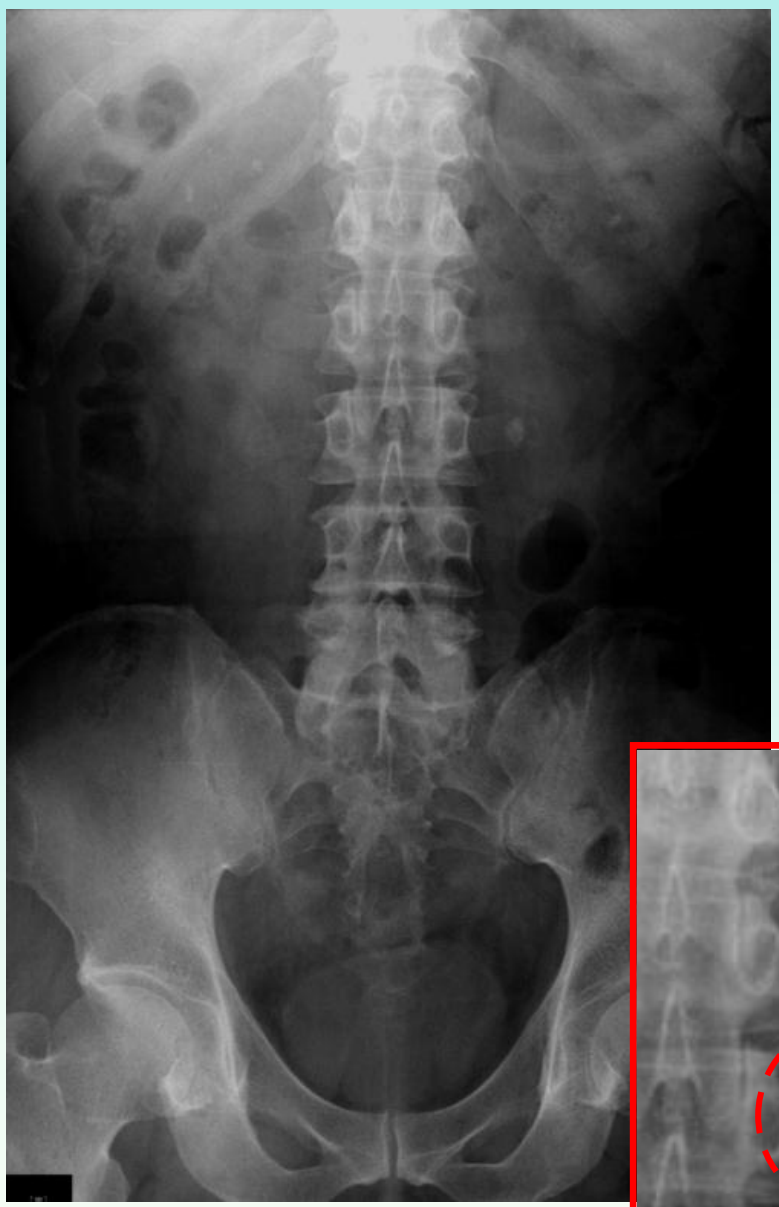
- 治療開始前に結石の位置や大きさを確認するためにお腹の写真を撮影します。
- 病棟で点滴を始め、その後治療室に入室します。
- 結石破砕装置に上がり血圧や心拍数のチェックを行います。検査時の姿勢は結石の位置によって仰向け、うつぶせに分かれます。
- 衝撃波を発生させる装置を、結石が存在する部分に当てて治療が開始されます。治療時間はおよそ40分～1時間となります。(図)



- 治療終了後、病棟に戻ります。
- 翌日、お腹の写真を撮影し、治療効果をみてから、退院となります。

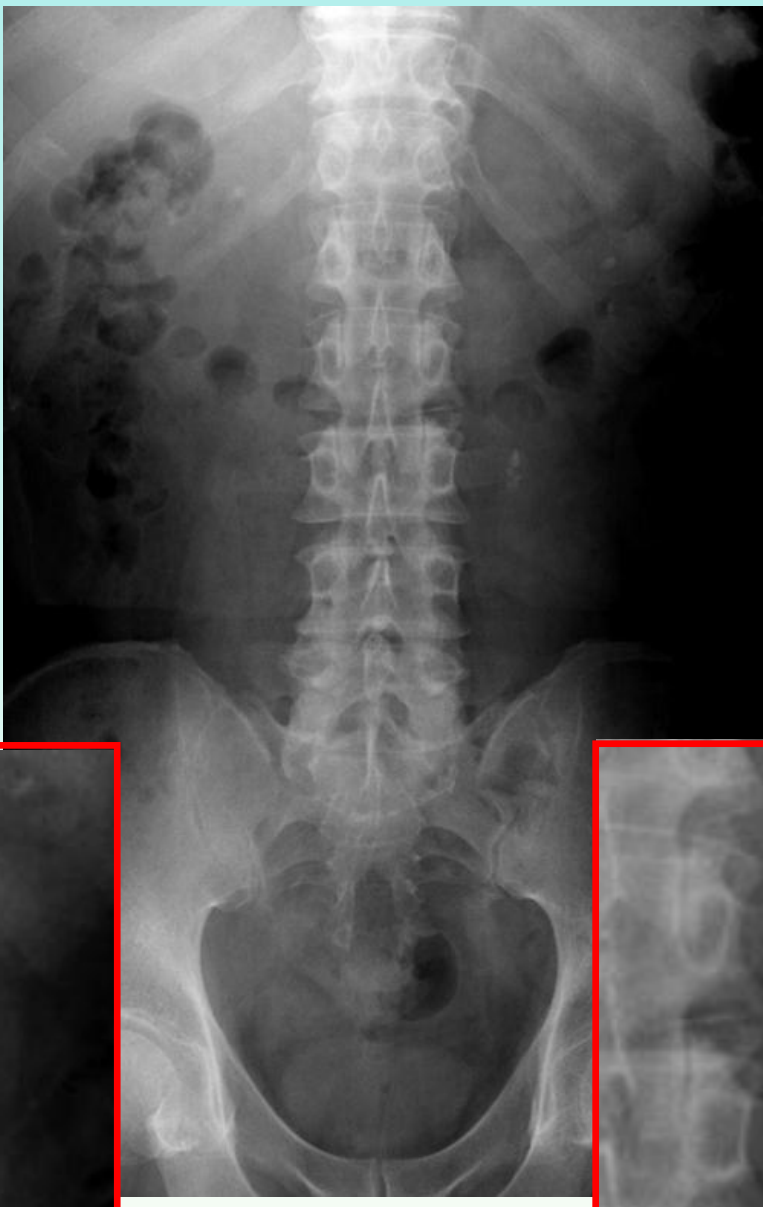
治療開始から治療後までの結石の様子

治療前



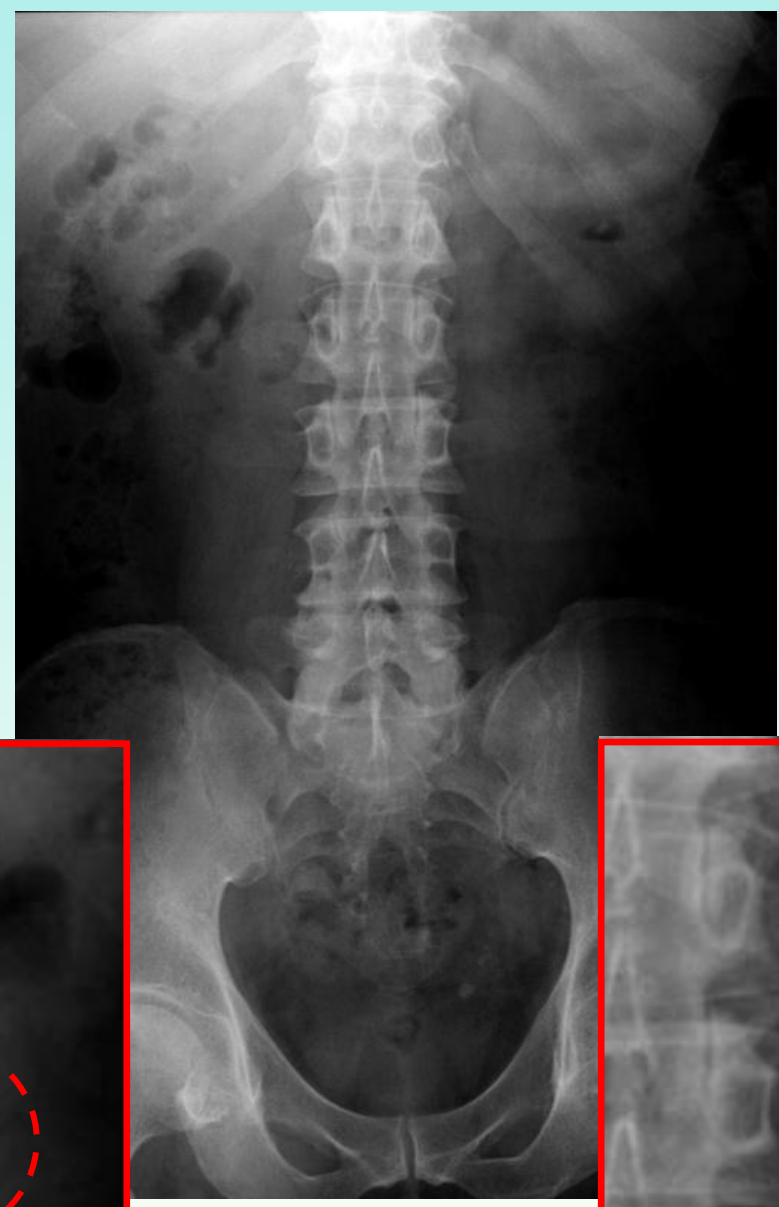
左尿管結石

治療後(翌日)



結石は砕けて小さくなっています。

治療後(数日後)



結石が無くなっています。

起こりうる合併症

- 血尿：治療後のほとんどの方に見られます。しかし、1～2日でおさまります。
- 皮下出血：出血しやすい人において、ESWLの衝撃波で起こることがあります。
ただし、1週間程度で治ります。
- 疼痛：砕けた結石が膀胱に落ちていく過程で痛みが発生する場合があります。
- 腎被膜血腫：まれに腎臓の周囲に出血し、血のかたまりが出来る場合があります。

ESWLの行えない方

- 妊娠している方や妊娠の可能性のある方
- 血の止まりにくい方や出血しやすい方
- 心臓ペースメーカーが入っている方
- 腹部大動脈瘤のある方
- 血をさらさらにするような薬を飲んでいらっしゃる方